

レジリエンス・ワークショップ

河北新報報道部 古関良行

備える



取り組む

外国人支援きめ細かに

防犯や防災に関する知識を得るには、市民の防災意識を高めることが重要と、仙台市防災推進課は、外国人を対象とした防災講座を開くことに決めた。

防犯や防災に関する知識を得るには、市民の防災意識を高めることが重要と、仙台市防災推進課は、外国人を対象とした防災講座を開くことに決めた。

外国人支援きめ細かに
外国人支援きめ細かに
外国人支援きめ細かに

仙台国際文化交流協会・仙台市

外国人支援きめ細かに
外国人支援きめ細かに
外国人支援きめ細かに

外国人支援きめ細かに

外国人支援きめ細かに
外国人支援きめ細かに
外国人支援きめ細かに



考える

避難の準備は、災害発生後に行われるものではない。災害発生前に行う準備が、避難の成功を左右する。避難の準備は、災害発生後に行われるものではない。災害発生前に行う準備が、避難の成功を左右する。

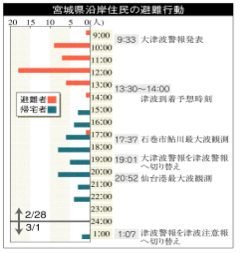
避難 目立つ「自己判断」



大津波警報が発せられた後、避難所に避難した住民たち。2月28日、宮城県三陸沖地震の被災者支援センター。

避難の準備は、災害発生後に行われるものではない。災害発生前に行う準備が、避難の成功を左右する。避難の準備は、災害発生後に行われるものではない。災害発生前に行う準備が、避難の成功を左右する。

避難の準備は、災害発生後に行われるものではない。災害発生前に行う準備が、避難の成功を左右する。避難の準備は、災害発生後に行われるものではない。災害発生前に行う準備が、避難の成功を左右する。



避難所の体育館は寒いし、お年寄りにはずかしい、風邪でもひいてお年寄りにはずかしい、風邪でもひいてお年寄りにはずかしい、風邪でもひいてお年寄りにはずかしい。

情報提供の見直し必要

情報提供の見直し必要
情報提供の見直し必要
情報提供の見直し必要

専門家の見方

サイエンスカフェ・mini

サイエンスカフェ・mini
サイエンスカフェ・mini
サイエンスカフェ・mini

漁師が察知、住民を誘導

漁師が察知、住民を誘導
漁師が察知、住民を誘導
漁師が察知、住民を誘導

伝える

伝える
伝える
伝える

チリ地震津波



チリ地震津波に直撃された家の残骸が道路をふさいだ。1960年5月、大津波市。

現場から

現場から
現場から
現場から

警報発生3分内目標

警報発生3分内目標
警報発生3分内目標
警報発生3分内目標

要、地震発生から2〜3分以内に発表するの目標

要、地震発生から2〜3分以内に発表するの目標
要、地震発生から2〜3分以内に発表するの目標
要、地震発生から2〜3分以内に発表するの目標

地震防災のページ

備える

地震防災のページ(月1回掲載)

濁流が命をのんだ

チリ地震津波きよつ50年

油断と誤認 被害広げる

伝える

「チリ地震津波」が50年を過ぎ、改めて多くの人々の注目を集めている。これは、この津波が日本列島に及ぼした被害の大きさを、改めて多くの人に知らしめるためである。津波は、地震によって発生するが、地震の規模が小さくても、津波の被害は甚大になることがある。また、津波は、地震の規模が大きなくても、津波の高さによって被害の範囲が広がる。津波は、地震の規模が小さくても、津波の高さによって被害の範囲が広がる。津波は、地震の規模が小さくても、津波の高さによって被害の範囲が広がる。



高さ5.5mの津波が襲来した大船渡市の大船渡駅。橋脚には木材などが大量に流れついた



津波の高さはm、同地域で複数の地点がある場合は最大の高さ。●●●の人数は死者、○は不明者(資料「日本経済新聞」)



41人の犠牲になった宮城県南三陸町志津川、海に近い商店街などを津波が襲撃した



東宝町南陸中津川、津波で被害を受けた小学校(西側)

情報インテックス

●「地域安全学会」公開シンポジウム。6月5日午前9時、大船渡市の市民文化会館。専修大学防災教育学教授が「チリ地震津波災害からの教訓、津波防災対策の現状と課題」と題して基調講演する。片岡敬孝専修大学防災学教授が、津波防災について講演。津波被害に遭った市民に伝えたことも、津波防災の重要性も、参加無料。連絡先は大船渡市防災管理室0192(57) 3111。

●チャレンジ防災講座。6月11日午後7時、仙台市青葉区のエル・パーク。仙台市防災推進課、仙台市防災推進課(仙台市)の防災推進主任学芸員が「過去の津波経験」と題して、津波防災について、明瞭とわかりやすいお話をしていく。参加費無料。連絡先は東北大学防災研究所仙台センター022(785) 7462。

あの日の記憶 今も

チリ地震津波は、住民が想像もしたことなく、巨大な波が襲ってきた。「津波の音には驚き」という当時の記憶が通じることが、当時の人たちは何を思い、どう行動したのか、体験者に聞いてもらった。

海茶色に盛り上がった



津波が押し寄せた時、海が茶色に盛り上がり、波が打ち寄った。家の中は、津波の音に驚き、家族が逃げた。津波の音には驚き、家族が逃げた。津波の音には驚き、家族が逃げた。

長女背負い必死に走る



津波が押し寄せた時、長女を背負って必死に走った。津波の音には驚き、家族が逃げた。津波の音には驚き、家族が逃げた。

人流される様子に衝撃



津波が押し寄せた時、人流される様子に衝撃を受けた。津波の音には驚き、家族が逃げた。津波の音には驚き、家族が逃げた。

振り向いたら水が迫る



津波が押し寄せた時、振り向いたら水が迫る。津波の音には驚き、家族が逃げた。津波の音には驚き、家族が逃げた。

浸水繰り返しが全壊



津波が押し寄せた時、浸水繰り返しが全壊。津波の音には驚き、家族が逃げた。津波の音には驚き、家族が逃げた。

現場から

防災の手引を活用して。気仙沼市本町地域防衛本部。小島健一防災推進員(57歳)「将来の発生が予想される宮城県東部地域を想定し、津波による浸水区域の想定と避難ルートについて、町民を訪問し、指導を行っています。一人一人の意識を高めて、



マンパワーの向上を図るといいます。津波の発生が予想される宮城県東部地域を想定し、津波による浸水区域の想定と避難ルートについて、町民を訪問し、指導を行っています。一人一人の意識を高めて、

地域共助呼び掛けたい。気仙沼市魚穂管理課課長。佐藤光太郎(37歳)「気仙沼市内の町内会や地域の人に、津波の発生が予想される宮城県東部地域を想定し、津波による浸水区域の想定と避難ルートについて、町民を訪問し、指導を行っています。一人一人の意識を高めて、



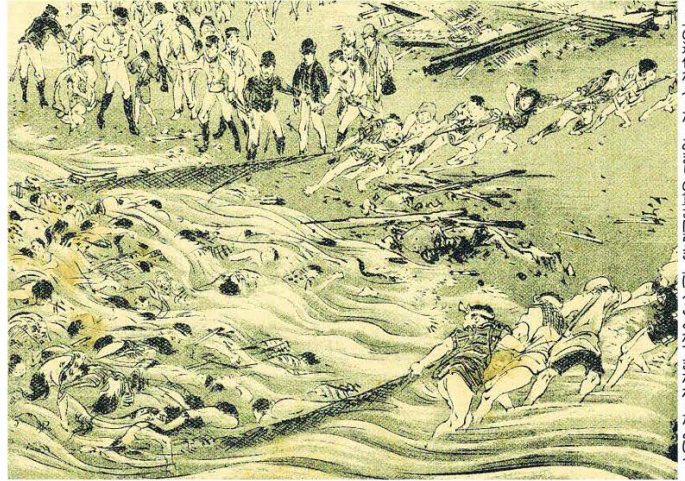
2月のチリ地震津波で、気仙沼市魚穂管理課が主催した、津波の発生が予想される宮城県東部地域を想定し、津波による浸水区域の想定と避難ルートについて、町民を訪問し、指導を行っています。一人一人の意識を高めて、

「地震防災のページ」に意見や感想、取り上げしてほしいテーマ、防災情報をお寄せください。あて先は〒980-8860仙台市青葉区五橋1の2の8、北東北新聞社報道部「地震防災のページ」係。ファックス4022(21) 1256。電子メールアドレスはsukun@po.kahoku.co.jp

津波への警告

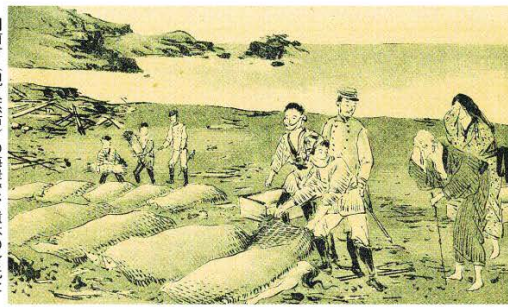
防災の日特集

絵図が語る明治三陸津波



広田村 現陸前高市広田では、捜索のため漁網を用いたところ、50人以上の遺体が見つかった。あまりの重さに引き上げることができなかったという。明治29年6月15日午後、最悪の津波で被害を受けた。光を当てたのは、気仙沼市にあるリッス・アーク美術館の主任委員の山内宏泰さん。任委員の山内宏泰さんに、当時の惨状を現代に伝えるための絵図がある。(39頁)

門前村(現久慈市)の海岸で、遺体の身元を確認する人々。衣服が激流で引き取られている上、損傷も激しく、作業は困難を極めた。



地獄の史実直視して



津波の激流のみ込まれ、引き裂かれぬ家族。その日は旧暦5月5日の端午の節句。中央左には、かたご(こ)のほしが描かれている。

唐桑村(現気仙沼市唐桑町)の惨状。倒壊した家屋からは無数の遺体が見つかった。辺りには悪臭が立ちこめたといわれ、鼻をつまみながら作業する人の姿も描かれている。

津波防災を絵図で啓発

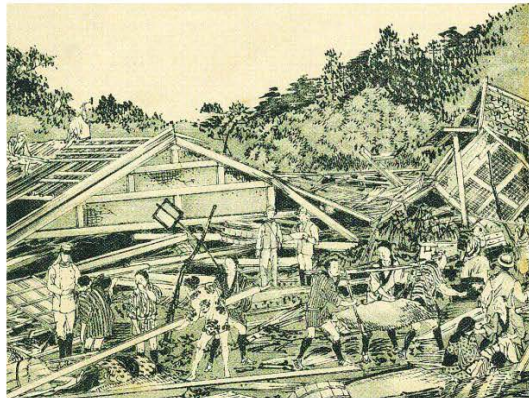
1896(明治29)年、2006年に特別展した一番ショックだったのは、小中学校からの団体見がわすか1件しかなかったこと。子どもでも目で見れば津波の怖さが分かる。『むすび』という「気味が悪く」と言っている。日本、一番悲惨な津波を経験した地域として、伝え残さなければいけないことがある。

風化食い止め 怖さ伝えたい

「正直言って、あまりかので、多く学校が来る声もあつた。『今はしくじりやかな身近な浜が、地獄と化した史実を語り、防災にある。高い確率で発生が予想される宮城県沖地震を含め、津波は必ず来る。津波の怖さを一人一人が肝に銘じ、備えなくてはいい。』」



リッス・アーク美術館 山内宏泰さんに聞く
「やまご、ひるやま、1971年、石巻市生まれ、宮城教育大卒。94年からリッス・アーク美術館に主任委員として勤務。専門は美術理論、美術教育。」



が、最大震度は3程度と小さく、沿岸部も津波を警戒する人は少なかった。それを被害が大きくとされる。当時の惨状を現代に伝えるための絵図がある。(39頁)

大船渡市博物館所蔵の雑誌「風俗画報」が、明治三陸津波の直後に発行された。同誌の記者が津波に襲われて間もない三陸各地を歩き、被害状況を取材した。その後、古本屋などで集めてきた。個人でも被災者の体験を基に東京の絵師が克明に描いた。それがきっかけとなり、山内さんは防災講座などに招かれ、絵図を使って津波の怖さを伝えるの語り掛ける。

【注】絵図はいずれも、明治三陸津波を特集した「風俗画報」の原本の複写。説明文はリッス・アーク美術館での特別展に合わせて、同誌の記事を現代の表現に置き換えたものを引用、加筆した。

役立ったのか 仮設住宅でアンケート

- 「役立った」は3割
- 「あまり」「まったく」役立たずは7割
- 「広く、浅く」から「狭く、深く」
→ 地域ごとに教訓を掘り下げ、地域の実情に応じた備えを

毎月11日掲載

防災・減災のページ



地域住民の自主的な防災対策の必要性について協議を特化した立川市行政地区の住民 6月17日、村町町西立西地区公民館

巡回ワークショップ @宮城県村田町・足立西地区

東北地方の震災から10年、被災地復興の歩みは着々と進んでいますが、震災から10年経っても被災地の復興は進んでいない。被災地復興の歩みは着々と進んでいますが、震災から10年経っても被災地の復興は進んでいない。被災地復興の歩みは着々と進んでいますが、震災から10年経っても被災地の復興は進んでいない。

山間部「自立型」共助へ

山間部は人口が少なく、高齢化が進んでいる。震災後の復興は進んでいない。被災地復興の歩みは着々と進んでいますが、震災から10年経っても被災地の復興は進んでいない。被災地復興の歩みは着々と進んでいますが、震災から10年経っても被災地の復興は進んでいない。

むすび塾



赤線は通新道。産業技術総合研究所南東北データベース2009年7月23日版 (http://ripod07.baselab.tytlab/activefault/index.htmlより)

鶴沼ダム(須賀川市)と村田ダム(宮城県村田町)の比較

	鶴沼ダム	村田ダム
ダム形式	アースダム	アースダム
着工	1937年	1972年
完成	1949年	1979年
堤高	18.5m	36.7m
貯水容量	150万4000立方m	166万立方m
流域面積	8,274平方km	8,537平方km
建設コスト	20億	17億

※日本ダム協会(ダム情報)より

■専門家から

東北大学工学部工学研究科教授(水工学) 風間 聡氏

ダムは、治水、発電、灌漑、貯水などの多様な機能を果たしている。震災後の復興は進んでいない。被災地復興の歩みは着々と進んでいますが、震災から10年経っても被災地の復興は進んでいない。

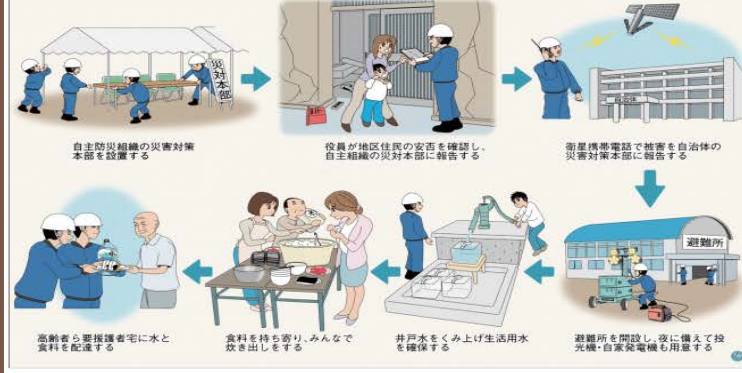


東北大学工学部工学研究科教授(水工学) 風間 聡氏

ダムの耐震性検証急務

震災後の復興は進んでいない。被災地復興の歩みは着々と進んでいますが、震災から10年経っても被災地の復興は進んでいない。被災地復興の歩みは着々と進んでいますが、震災から10年経っても被災地の復興は進んでいない。

地震が起きた時に自主防災組織が地域で行うこと



自衛隊での経験基に助言

山形県危機管理アドバイザー 高野昭彦さん(58) 2010年まで自衛隊員として全国各地の災害現場で活動した経験を活かし、山形県と各自治体の危機管理や防災対策に対する助言を行っています。例えば情報収集、自衛隊では「情

報主要素」と言いますが、緊急時は、その時点で優先的に知るべきことが何かをはっきりさせる必要があります。機軸とした情報は役に立たない。訓練などのために伝えるべきは、被災地での経験に基づいて、被災地の状況に合わせたアドバイスが重要だと思っています。

被災地での経験に基づいて、被災地の状況に合わせたアドバイスが重要だと思っています。

携帯基地局の改修進める

東北大学大学院 野野義一さん(56) 東日本大震災では、携帯電話が壊れてしまった。震災後、携帯電話の修理や改修が進められた。震災後、携帯電話の修理や改修が進められた。

孤立前提に自主防災組織を



東北大学危機管理センター 木村 拓郎氏 中野氏の経験は、被災地の復興に大きな貢献をした。被災地の復興に大きな貢献をした。

まずは安否連絡網整備

東北大学危機管理センター 木村 拓郎氏

まずは安否連絡網整備

東北大学危機管理センター 木村 拓郎氏

継続的な話し合い大切

東北大学危機管理センター 木村 拓郎氏

できるところから準備

東北大学危機管理センター 木村 拓郎氏

■情報をお寄せください

お問い合わせ先: 山形県危機管理アドバイザー 高野昭彦さん(58) 2010年まで自衛隊員として全国各地の災害現場で活動した経験を活かし、山形県と各自治体の危機管理や防災対策に対する助言を行っています。

お問い合わせ先: 山形県危機管理アドバイザー 高野昭彦さん(58) 2010年まで自衛隊員として全国各地の災害現場で活動した経験を活かし、山形県と各自治体の危機管理や防災対策に対する助言を行っています。

お問い合わせ先: 山形県危機管理アドバイザー 高野昭彦さん(58) 2010年まで自衛隊員として全国各地の災害現場で活動した経験を活かし、山形県と各自治体の危機管理や防災対策に対する助言を行っています。

公開画面(写真)イメージ

Firefox

河北新報 震災アーカイブ 検索・サム...

河北新報ニュース「コルネット」 | 3.11「絆」手を携え、前に！ | 投稿サイト「動画の辻」

河北新報 震災アーカイブ

写真検索 | 記事検索 | 地図検索

フリーワードで探す: フリーワード検索 | 地域で探す: 住所

時期で探す: 開始時期 ~ 終了時期

表示コンテンツ: 河北新報提供写真のみ

検索

並び替え: 日付昇順 日付降順 | 表示件数: 30 | サムネイル表示 リスト表示

検索結果: 21件 << < 1 2 > >>

						
JR仙台駅前 2011年3月11日 撮影	午後6時5分、気仙沼市 気仙沼湾に漏れた重油 に引火し、湾内全体... 2011年3月11日 撮影	南三陸町志津川に津波 が押し寄せる瞬間4 2011年3月11日 撮影	午後4時ごろ、岩沼市 仙台空港仙台空港に押し 寄せる大津波 2011年3月11日 撮影	釜石市、がれきに埋も れた街から犠牲者を運 ぶ自衛隊 2011年3月12日 撮影	釜石市、大津波から一 夜明けた市街地では、 家を失った市民らが た... 2011年3月12日 撮影	気仙沼市鹿折、自宅2 階の物干し場から救助 を求める女性 2011年3月12日 撮影
						
宮城県気仙沼市車両が 津波に襲われ脱線した JR気仙沼線 2011年3月12日 撮影	釜石市 倒壊した建物 を捜索する岩手県警の警 察官 2011年3月12日 撮影	午前2時46分、釜石市 内の避難所 2011年3月12日 撮影	午前6時40分ごろ、名 取市閉上、津波で流さ れた車やがれきが散... 2011年3月12日 撮影	午前7時36分、東松島 市大曲海水に浸かり大 型漁船が打ち上げら... 2011年3月12日 撮影	名取市増田、名取市役 所には家族や親類、友 人などの安否を尋ね る... 2011年3月13日 撮影	生活用品を求めて大手 スーパー前に並ぶ市民 2011年3月14日 撮影

震災アーカイブ 5つのスタンス

- ①報道機関として 「1000年に一度」取材し後世に伝承
- ②地元紙として 市民の記録を収集・保存・整理・閲覧
(膨大な写真・映像・証言が残る初の大災害)
- ③被災当事者として 「次に備える」防災減災教育に寄与
- ④インフラとして 全世界からアクセスできるデータベースの構築
(検索システム、メタデータの付与と共有)
- ⑤地域再生の一助として コミュニティ再生に役立てる視点
(「被災地域のための利活用」を念頭に置いた仕組みづくり)

河北新報震災アーカイブの特徴



見るアーカイブ

- ・ 新聞記事と報道写真、市民撮影写真を関連付けて見るサイト
- ・ 地図とタイムスライダー…地域と時系列の整理で見るサイト
- ・ 記事と写真でたどる震災の記憶（被災・歩み・祈り…）



有償システムと無償のアーカイブの切り分け

- ・ 新聞記事見出し1万数千件を無償提供⇒内容は河北DB（有償）で
- ・ 過去記事（昭和三陸津波、チリ地震津波、宮城県沖地震など）デジタル化
- ・ 市民提供写真1万点以上を（権利関係整理の上で）保存・検索・閲覧



地域と連携した幅広いコンテンツ収集活動

- ・ 新聞未掲載の写真数万点の保存・整理と一部公開
- ・ 市民やボランティア団体が撮影した写真の収集・投稿・保存・閲覧
- ・ 復興に至る「今」を記録し続ける⇒次世代に向け育ち続けるサイト